



鏡獅子

『新春の三人の講演から鏡獅子』

新春に三人の講演を聞きました。一人は宏池会の元会長で自民党の元幹事長古賀誠氏、二人目は青山学院の原晋氏、三人目は渋沢栄一の玄孫である渋沢健氏です。長い人生のなかでの生き方、生きている姿をこの眼と耳で拝聴することが出来ました。古賀氏の幼少時の想い、原氏の競技生活からの再チャレンジ、渋沢氏の五代続くDNAからの生き方。人さまざまな生き方があり、どう生き、どう生かされているかを垣間見る講演会でした。

講演を聞き終わり、どこに向かっているのかを自問自答する私に『鏡獅子20年ぶりの里帰り』と銘打った一枚のチラシが目に残りました。早速、平櫛田中の傑作、鏡獅子を見に井原美術館に行ってみました。まず、最初に入った部屋での作品に使用する大きな大木には驚かされ、彼のスケールや人生の大きさ、そして作品に圧倒され、啞然とさせられました。作品を見ると一つ一つに、はつきりとした方向性が表れているのが理解できます。その中でも特に「源頼朝公像」の正面、横、後ろ姿は『安定して、なお不安定、それがまた安定感を増している姿』として映り、未知なる世界へ誘う作品に感銘を受けました。

平櫛田中の言葉「いまやらねばいつできる、わしがやらねばだれがやる」子供をなくした田中が、子と共に生きる姿のようにも理解できます。そして、「六十、七十は鼻たれ小僧、男盛りは百から、わしもこれから」と、まだまだ生きているぞと言いつづけているようでした。

今年一年が皆様にとって幸多からん年となりますよう御祈念申し上げます。

株式会社 ウィズアート

代表取締役 伊藤弘幸

たてももの見聞録 ～ 街並みを散策 広島県豊田郡大崎上島町木江 ～



三階建ての建物が並ぶ



日本で唯一残されている
木造5階建「大内邸」築100年

大崎上島町の中でも、歴史の深い地区が木江（きのえ）集落。木江の町並みの特徴は、木造三階建以上の立派な建物が並ぶ独特な景観で知られています。狭い路地と、3階建ての木造長屋。通り側に面した欄干・縁側が特徴的です。かつて木江が風待ちの港町として栄えた時代の歓楽街（遊郭）の跡で、二階、三階の手すりや窓などに凝らされた意匠に、当時の名残が見られます。



手摺にはハート

旅館

明治から昭和初期に施工され、まさに木造船の製造が盛だった時代の建築である。狭い土地の故、平面的より立体的に居住空間を広げたのかもしれない。現在は人の姿はほとんどなく、当時の面影のまま時間が止まったかのように感じる。(M.T)

日本の「住まい(住舞)」

～ 100年の歳月を語る住まい～



完成 全景

令和4年、原爆の爆風にも耐えた100年前の家を全面改修させていただきました。お施主様は歴史ある「家(住まい)」を大切に、丁寧に生活してこられました。お施主様とコミュニケーションをとりながら、5ヶ月間という長い時間をかけて工事を進めました。図面の無いなか、当時の時代環境を考え、建物の姿・型や構造等を見て建物の状態を把握しました。そして「型」を想像し、その「形」を造り上げていきました。

人々の暮らしを守ってきた住まいが、新しく変わっていく様子をご覧ください。

(担当:一級建築士 伊藤 弘幸)



南面から

西面から

和室

LDK



着工前足場組立状況

壁下地補修前

壁モルタル下地補修

外壁下地材取付状況

外壁下地材取付状況

外壁はかなり劣化が激しく見られました。現在の住宅では見られない「木舞下地土壁」(竹の小割材を格子状に組んで荒壁土を塗る工法)は純粋な日本壁です。長期間の工期、熟練技能者の減少等多くの理由により一般建築では「日本壁」は難しくなりました。今回は新しく下地材を組みモルタルで補修後、耐久性の高いサイディングとしました。



玄関前着工前

腰板下地取付・外壁下地取付
玄関柱化粧板張付け

垂木先銅板包み

腰壁中木
タイル張り

石張り施工中

石張り完了

外部は重厚感を持ちながらもすっきりとした玄関としました。腰板を張り、軒を支える柱も太くし、アプローチにはどっしりとした在来の踏み石を置き、廻りを石張りしました。内部は外壁に白蟻による腐食が見られたため、土台から改修しました。漆喰壁は黄色に、タイルは青色とし、玄関に入った時の驚きと新鮮さを感じられる空間としました。



妻面漆喰下地状況

100年前の鍍絵

鍍絵漆喰仕上げ

軒下漆喰完了

西面外壁完了

仏教伝来とともに仏画(壁画)を描くために百済から渡来した畫工が、土壁にそのままでは描くことができず、白亜上塗りをしたことが「漆喰塗り」の始まりだそうです。この家は街のマップで「鍍絵・うだつのある家」として紹介されています。既存の鍍絵は撤去保存し、現代の左官職人が家の繁栄を願い「鶴と亀の鍍絵」を作成、西壁面を飾りました。「うだつ」もきれいに補修しました。きらりと光る「匠の技」が未来へと残ることは嬉しいことです。



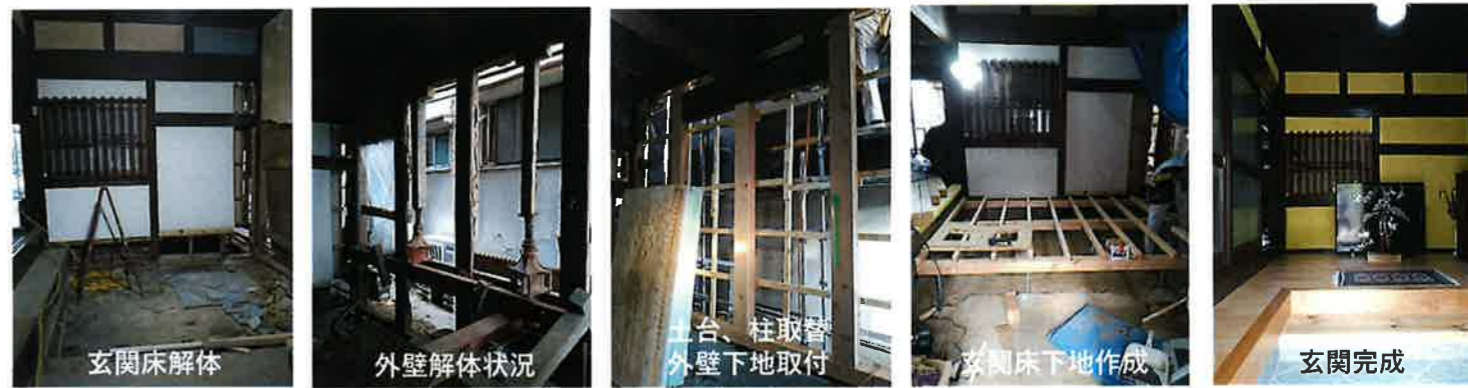
うだつ補修着工前

在来漆喰剥ぎ取り

下地補修

うだつ補修完了

うだつ補修完了



玄関床解体

外壁解体状況

土台・柱取替
外壁下地取付

玄関床下地作成

玄関完成



玄関上部屋根下地取付

天井解体後屋根裏状況

和室床下

束石

玄関上部屋根下地完了

天井壁仕上げ

束

和室床下
束石取替及び束補強

屋根は既存瓦を撤去、屋根下地材を修復し、古民家に似合う軽量瓦としました。天井は解体し、隠れていた梁を露出させる仕上げとしています。床下の束石は建築当時のままでしたので、取替え、束も全て取替え補強しました。玄関内部土間の仕上げは、タイルを四半敷目地とし、壁の色は故宮、皇帝専用の色で災いを遠ざける色を模しました。



古民家再生
2022
YouTube

～ ウイズアートの現場から～



Before



間仕切り撤去後
床・壁・天井貼替



パーティション取付



銀行の看板シートを貼付工事
～中区～(伊藤敬)

【(株)C改修工事】～安佐南区～(丸口)
病院だった建物を事務所に改修工事。小部屋の間仕切りを撤去し、事務所と会議室に改装中です。



Before



After

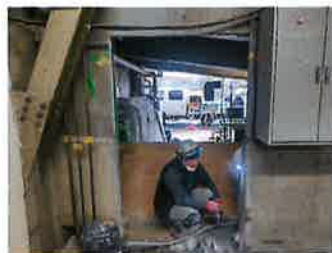


公共工事

【(株)倉庫現状復旧工事】～南区～(竹本・伊藤敬) 2つの倉庫をつなぐ通路を解体し、ブロック積み、鉄骨工事、スレート取付等の工事を行い、元の倉庫に現状復旧しました。



Before



After



【広島県情報プラザトイレ改修工事】～中区～(丸口・伊藤敬)
1階～5階全てのトイレ改修を行います。工期は10月末までです。

【(株)工場開口その他工事】～安芸区～(竹本)
壁を撤去し、アルミ製建具を取付しました。同時に壁面明装工事をしました。



After

内窓取付

【F様邸内窓取付工事】
～安佐南区～(丸口)
補助金制度を利用して内窓取付をしました。熱を遮断し年中快適に過ごせます！補助金制度について下記詳細へ↓↓



借家修繕工事
～中区～(丸口)

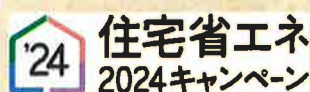


宅配ボックス設置
～西区～(竹本)

《補助金制度》住宅省エネ2024キャンペーンはじまります！！

- ①子育てエコホーム支援事業 外壁・屋根・天井又は床の断熱改修・子育て対応改修・バリアフリー改修等
- ②先進的窓リノベ事業 高性能な断熱窓への改修
- ③給湯省エネ事業 ヒートポンプ・ハイブリッド給湯器・家庭用燃料電池の導入
- ④賃貸集合給湯省エネ事業 住宅で給湯器から補助集合対象エコジョーズ・エコフィールへの取替の補助

断熱化は暑さ寒さの解消だけでなく、家族の健康維持につながる効果が期待できます！！
また、省エネ住宅の実現にもつながります。健やかに快適な住まいを考えてみませんか？



対象者:令和5年11月2日以降に「リフォーム工事」に着手した方
受付期間:令和6年3月中下旬～予算上限に達するまで(令和6年12月31日までの間)
リフォームをお考えの方は「ウイズアート」までお問合せください。

『第3回ウイズアート賞 学生建築コンペ 作品募集』

オリンピックと同じ4年に一度の「ウイズアート賞」を開催します。詳しくはホームページをご覧ください。お問合せは「ウイズアート賞係」まで。



総合建設業・一級建築士事務所・宅地建物取引業



広島市中区竹園町1-17 TEL.082-247-0082 ウイズアート広島 総務課

Uizu-Art Letter

2024 winter special edition No,9

FORMER HIROSHIMA BRANCH OF THE BANK OF JAPAN



after the atomic bombing

An atomic bomb was dropped on Hiroshima on August 6th, 1945.

The Hiroshima Branch located only 380 meters southeast of the hypocenter, was severely damaged, but the building itself spared from collapse due to its sturdy structure.



View of the office from the lobby In 2023



In 1936



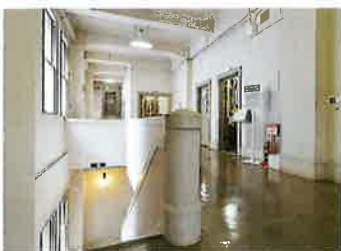
Outer door of the vault



In the basement of the building, the iron grating in the hallway in front of the vault was blown down, but the vault and warehouse were safe.

Although the office was severely damaged, the Hiroshima Branch reopened for business on August 8th, just two days after the bombing.

It became one of the driving forces for the resumption of economic activities in Hiroshima.



Branch manager's office

The building was designated as an Important Cultural Property in July, 2000.

Open to the public for free, the former bank now serves the community as a space for historical learning and cultural and art events.

~Corporate Philosophy with Uizu Art~

Joy together, Support each other

General construction

First-class architect office



-Uizu·Art-



UIZU.ART

旧日本銀行 広島支店



原爆投下後

1945年8月6日、広島に原子爆弾が投下されました。爆心地からわずか380メートル南東に位置する広島支店は甚大な被害を受けましたが、建物自体は頑丈な構造だったため倒壊を免れました。



2023年



1936年



金庫室の外扉



地下では金庫室前の廊下の鉄格子が吹き飛ばしましたが、金庫室と倉庫は無事でした。事務所は大きな被害を受けましたが、広島支店は、被爆からわずか2日後の8月8日に営業を再開しました。銀行の営業は広島経済活動再開の原動力のひとつとなりました。



支店長室

2000年7月には重要文化財に指定されました。かつての銀行は現在、歴史学習や文化・芸術のイベントスペースとして地域住民に無料で開放されています。